

2023年3月期 第1四半期決算補足資料

株式会社IMAGICA GROUP

証券コード：6879

2022年8月2日



- 1 **全社のれん償却前営業利益は約7億円、前年より5億円増益**
- 2 **映像制作サービスは海外がけん引し、前年より5億円増益**
- 3 **当期純利益は特別損失の計上と繰延税金資産に起因する法人税等の増加により4億円減益**

第1四半期決算ハイライト

- ・ 大幅な増収増益を確保。当期純利益は特別損失の計上と法人税等の増加により減益

(単位：百万円)

売上高

19,861

前年増減額

+4,447 (+28.9%)

のれん償却前
営業利益

686

前年増減額

+528 (+334.0%)

営業利益/損失

271

前年増減額

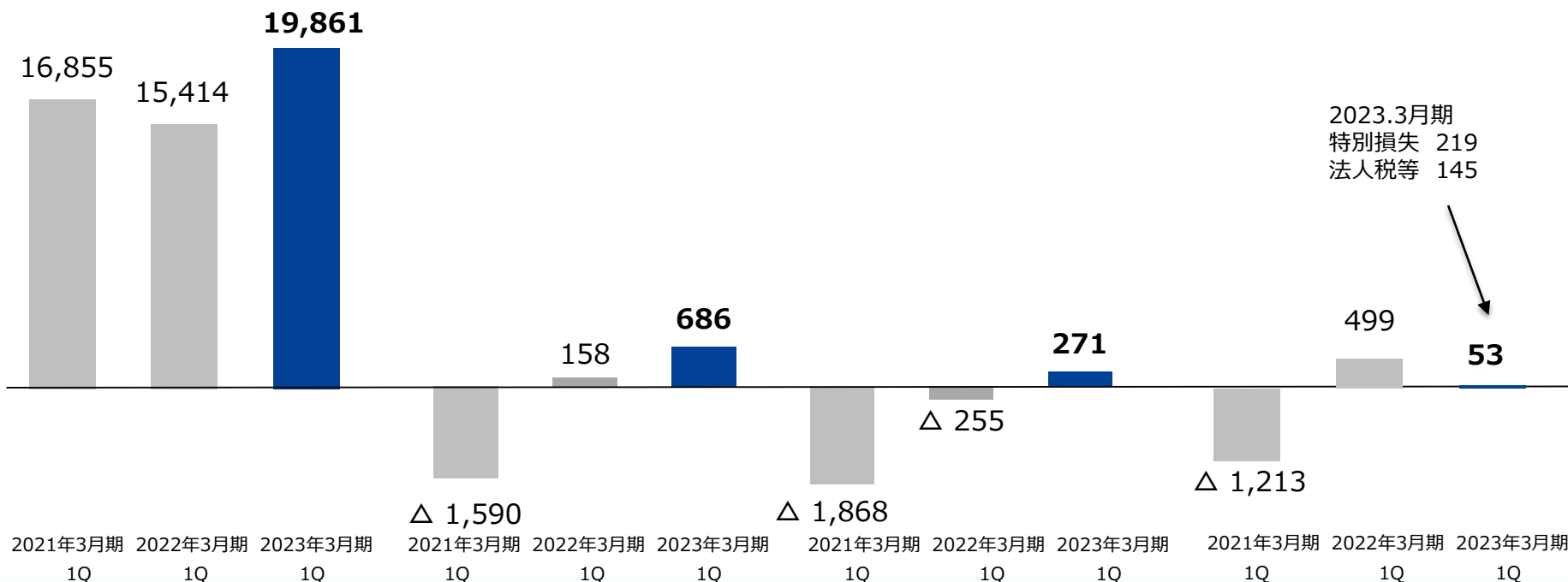
+526

親会社株主に帰属
する当期純利益

53

前年増減額

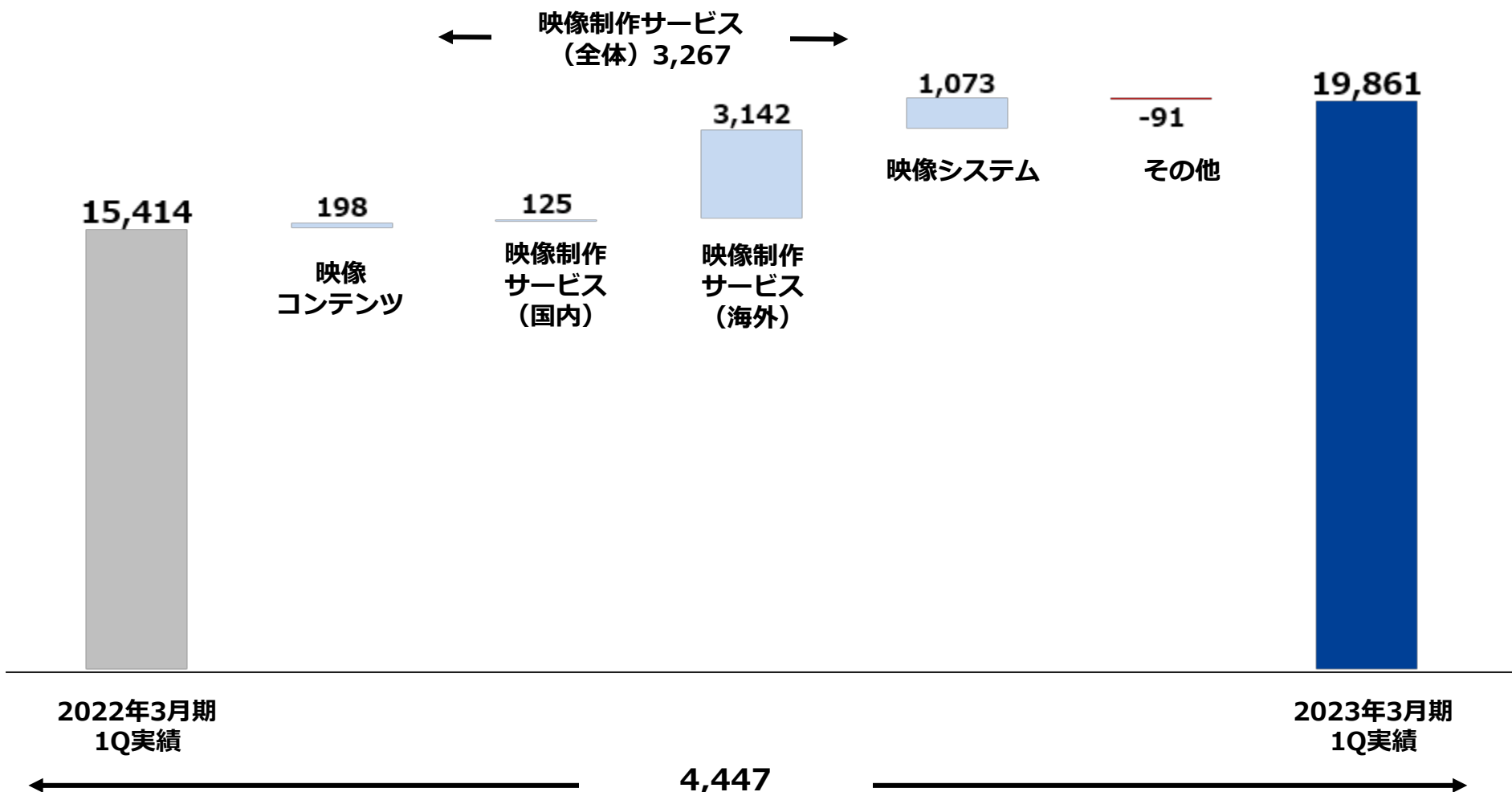
△446



売上高の増減分析（前年比）

- 全セグメントで増収、特に映像制作サービス（海外）は31億円の増収

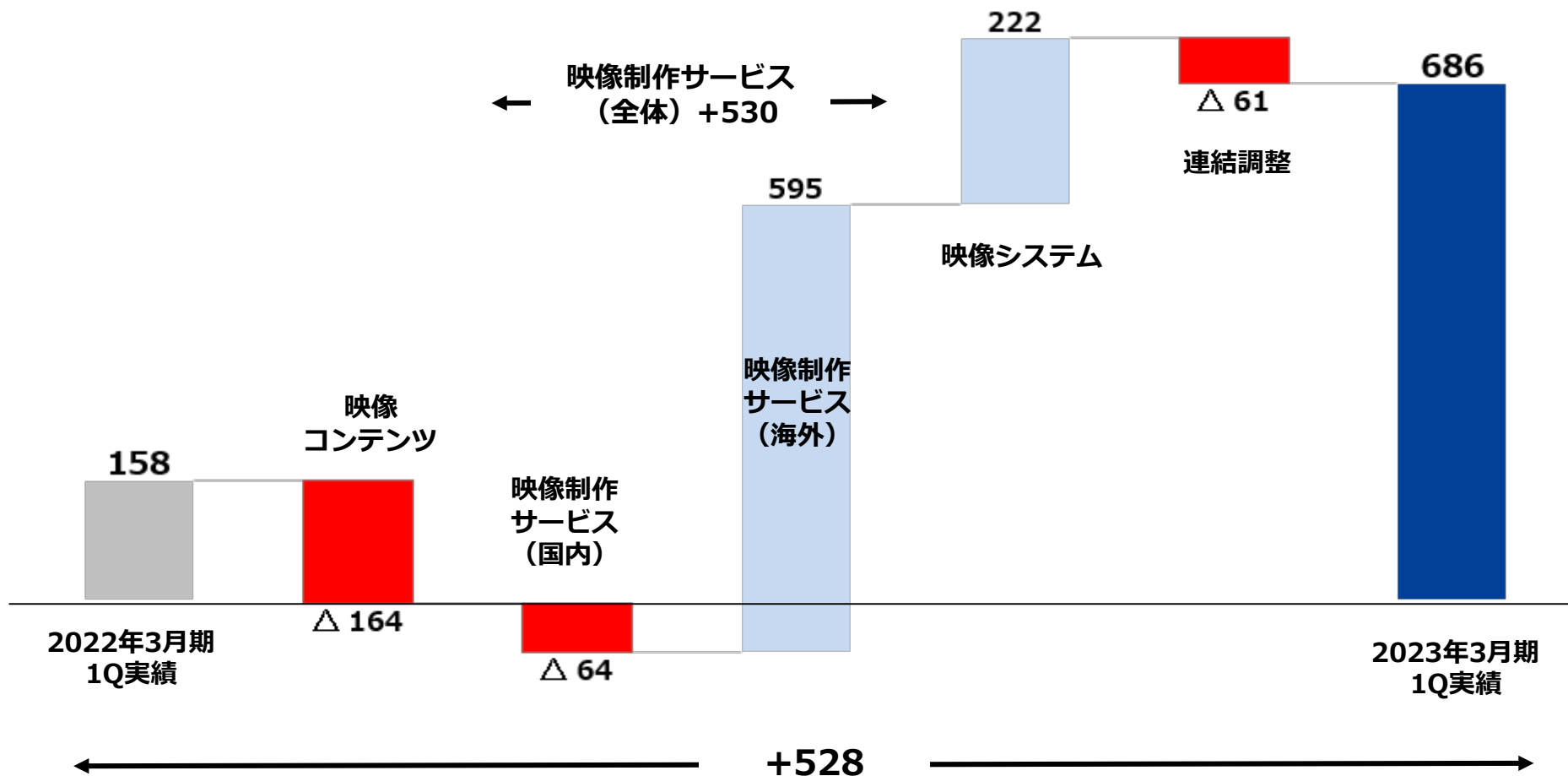
（単位：百万円）



のれん償却前営業利益の増減分析（前年比）

- 映像制作サービス5億、映像システム2億、連結で5億円の増益

(単位：百万円)

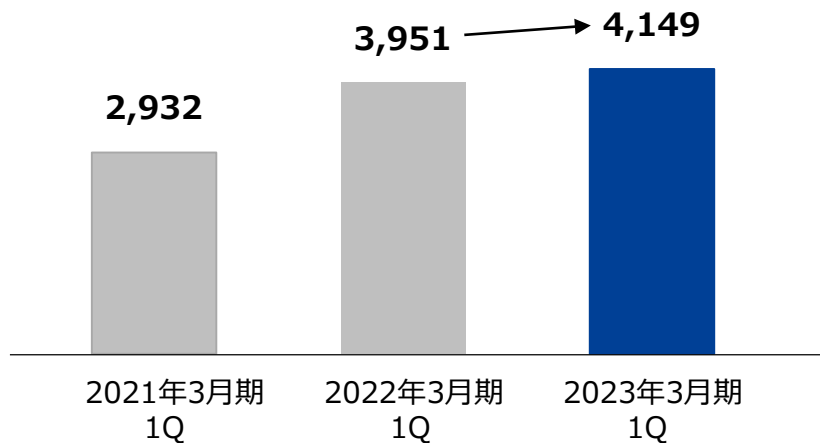


- ・ 劇場映画やドラマ作品は好調も、アニメ作品の延期やライトノベル作品の反動減等により減益

(単位：百万円)

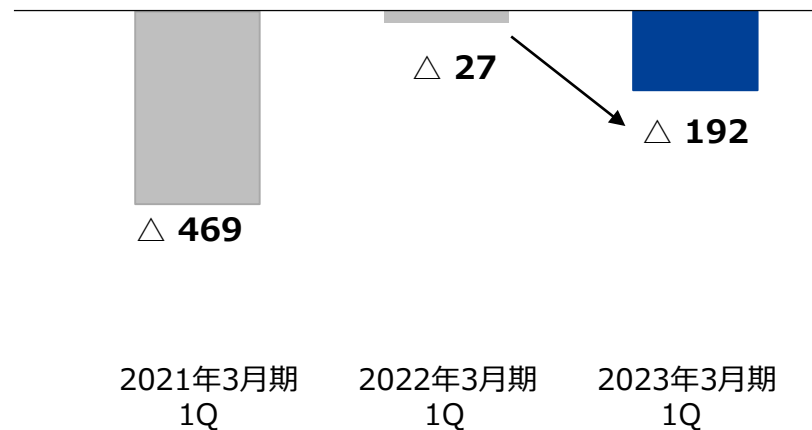
売上高

前年増減
+198 (+5.0%)



のれん償却前営業利益

前年増減
△164



- ✓ アニメ作品は一部作品の納品が2Q以降に延期となり減収減益
- ✓ 出版事業は前期1Qに人気ライトノベルの新作発売があり、その反動減で減収減益
- ✓ ライブエンタテインメント事業はVRプラットフォームの開発協力や映像演出での受注が好調

・グローバルE2Eサービス*1の好調継続により大幅な増収増益

売上高

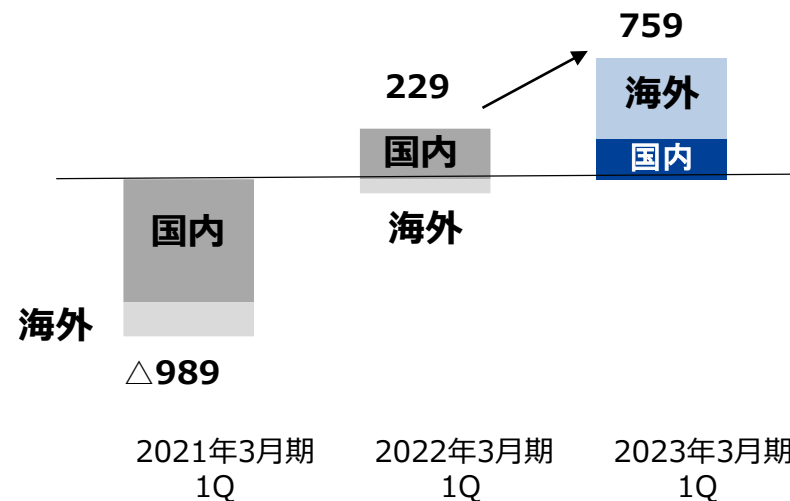
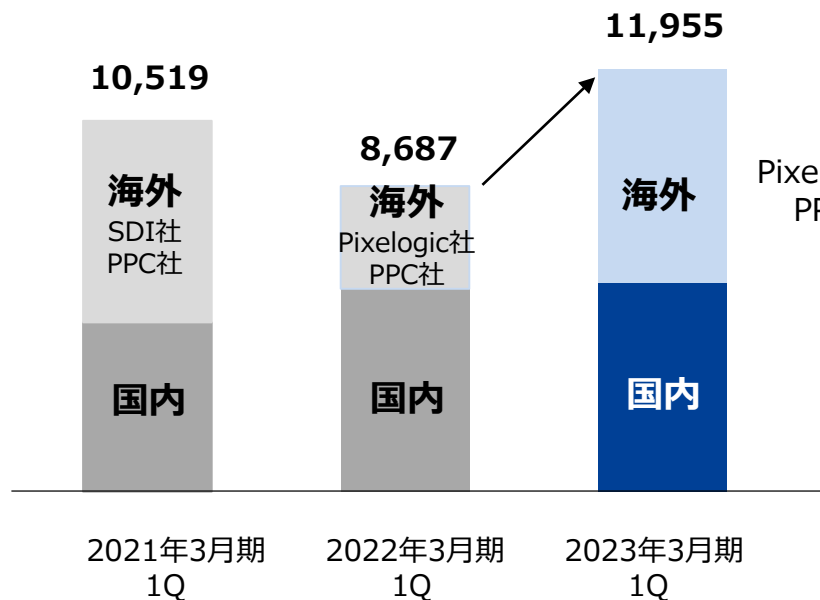
のれん償却前営業利益

(単位：百万円)

数値は国内・海外の合算

前年増減
+3,267 (+37.6%)

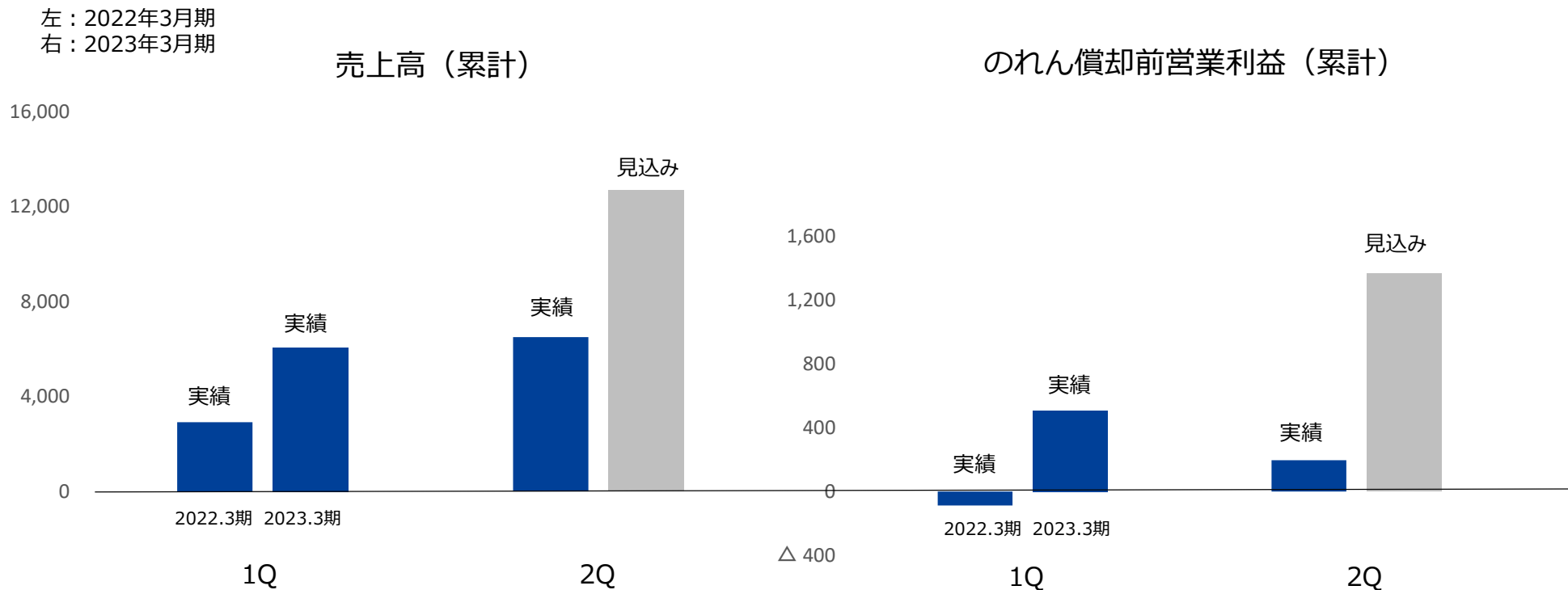
前年増減
+530(+231.7%)



- ✓ 国内では劇場公開作品数増加によりデジタルシネマサービス*2やポストプロサービス堅調も、拠点移転に伴う固定費増により減益
- ✓ 海外では動画配信事業者*3向けのローカライズ需要が引き続き好調で大幅な増収増益

・引き続き動画配信事業者向けサービスが好調、2Qも堅調な推移を見込む

(単位：百万円)

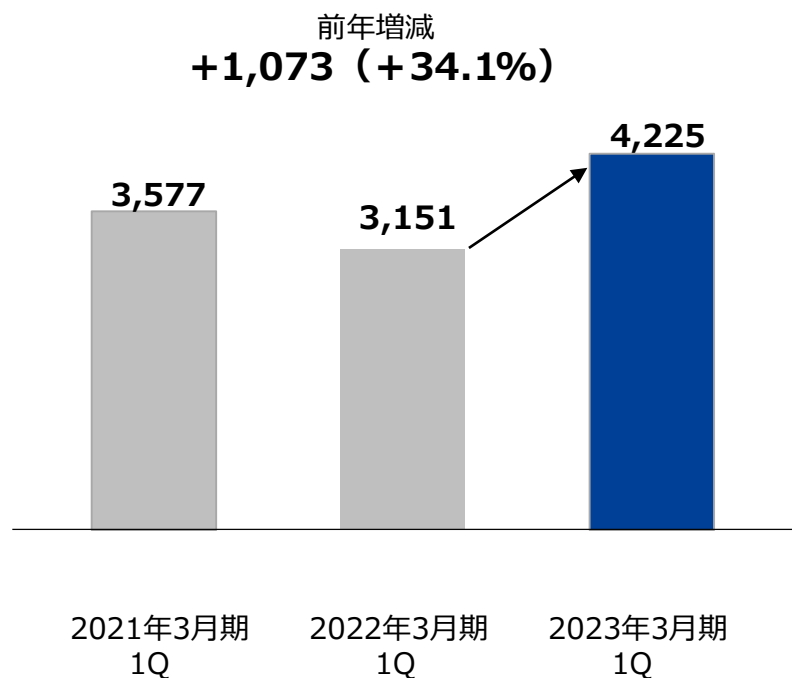


- ✓ 動画配信事業者向けのサービスは2Qも堅調を見込む
- ✓ 欧米での劇場公開が通常化しデジタルシネマサービスも引き続き好調見込み

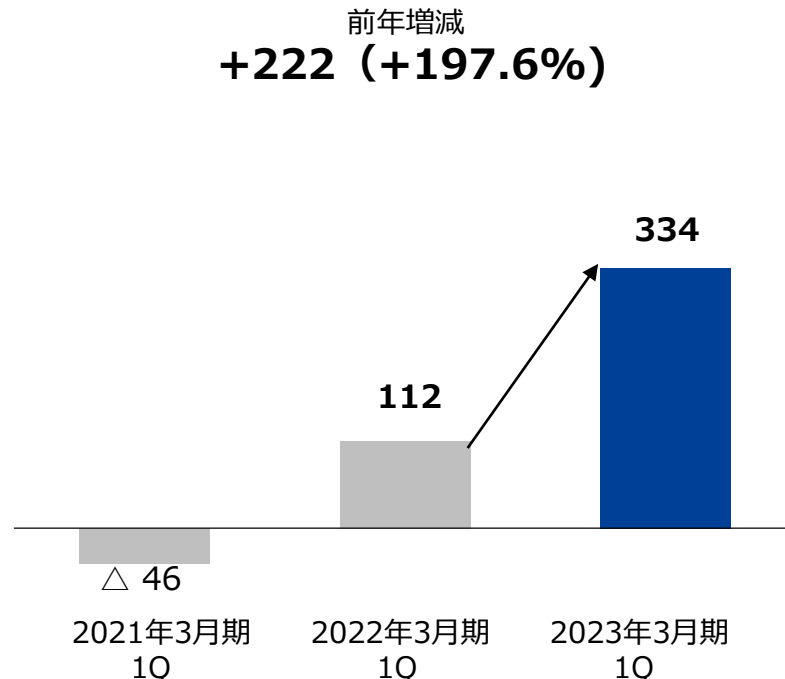
・ 放送映像システムや映像・画像処理LSIが堅調なスタートで増収増益

(単位：百万円)

売上高



のれん償却前営業利益



- ✓ 放送映像システムは大型案件などの受注が貢献し増収増益
- ✓ ハイスピードカメラの受注は堅調で増収・増益
- ✓ 映像・画像処理LSIは国内およびアジア地域の販売が好調

2023年3月期 通期業績予想

・映像制作サービス（海外）好調も、半導体不足による映像システムへの影響懸念があり、現時点において業績予想の修正はなし

（単位：百万円）

(百万円)	2022年3月期	2023年3月期		
	実績	業績予想	前年 増減額	前年 増減率
売上高	80,184	88,000	7,816	9.7%
のれん償却前営業利益 (利益率)	5,131 (6.4%)	5,200 (5.9%)	69	1.3%
営業利益 (利益率)	3,417 (4.3%)	3,600 (4.1%)	183	5.3%
経常利益	3,934	3,300	△634	△16.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,729	2,100	△629	△23.0%
1株当たり当期純利益（円）	61.49	47.30	△14.19	△23.0%

配当方針

当社グループは、株主の皆様に対する利益還元を経営の重要事項のひとつと位置づけております。配当につきましては、連結業績に応じた利益配分を基本としたうえで、連結配当性向の目標を30%とし、安定した配当の維持と配当水準の向上を目指しております。

なお、特別な損益等の特殊要因が当期純利益に大きく影響を与える場合は、配当の決定にあたり、基本的に特殊要因を考慮した配当性向を踏まえ、株主様への安定的な配当と今後の事業展開や内部留保の状況などを総合的に勘案し決定いたしております。

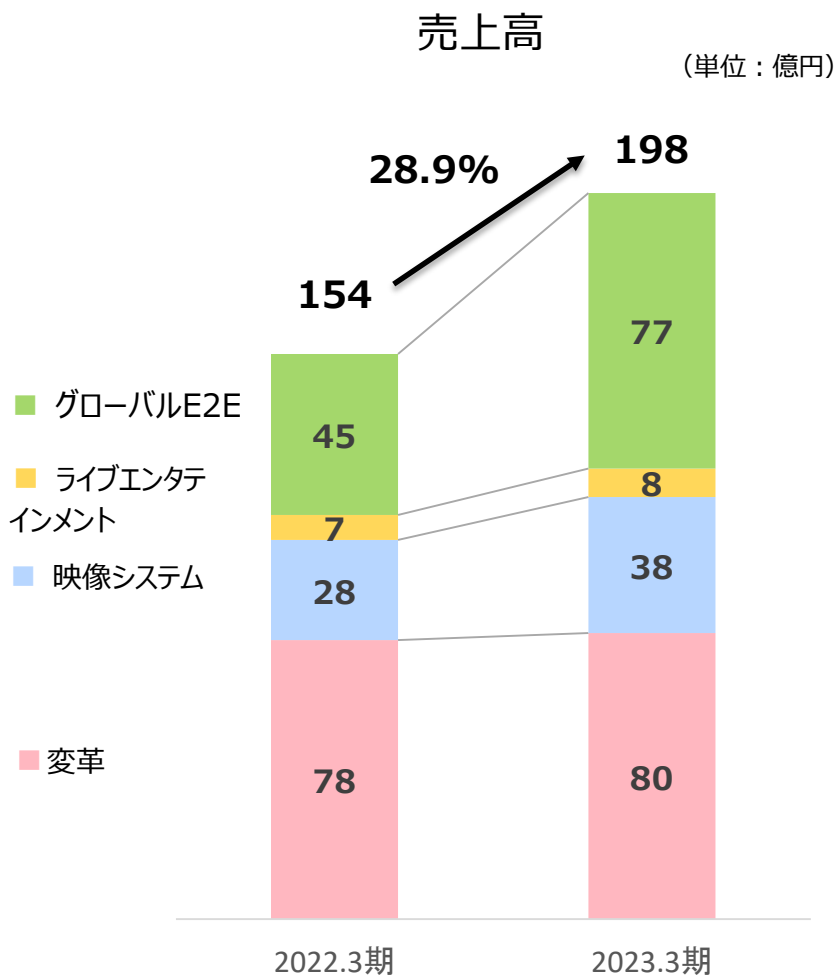
上記方針に基づき、2023年3月期の配当予想は15円とさせていただきます。

	親会社に帰属する 当期純利益	1株当たり 親会社に帰属する 当期純利益	配当予想	配当性向
2023年3月期予想	2,100百万円	47.30円	15.0円	31.7%

Appendix.

(参考) 中期経営計画「G-EST2025」の業績進捗

・2023年1Q、4つの基本戦略は順調にスタート



グローバルE2E事業 (売上高77億円)

- ✓ 国内外において動画配信事業者向けサービスが引き続き好調で、前年同四半期比71%増と大幅増収

ライブエンタテインメント事業 (売上高8億円)

- ✓ ぴあ株式会社が提供するバーチャルライブプラットフォーム「NeoMe(ネオミー)」の開発協力や映像演出などの受注が好調

映像システム事業 (売上高38億円)

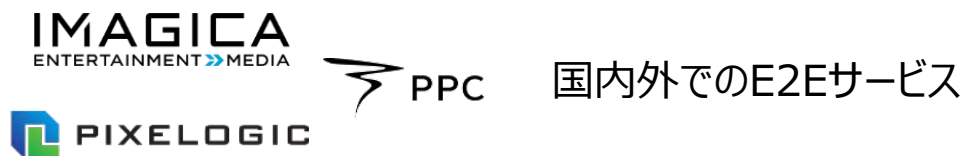
- ✓ 放送映像システムは大型案件の受注が貢献し増収増益
- ✓ ハイスピードカメラの受注は堅調に推移

変革事業 (売上高80億円)

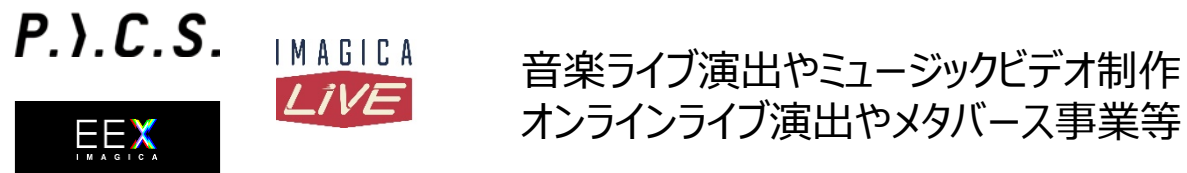
- ✓ アニメ作品の2Qへの延期があるも、劇場作品・ドラマ作品や、TV番組・TVCM向けポストプロ等は、順調に進捗

(参考) 基本戦略に属する主要子会社と事業内容

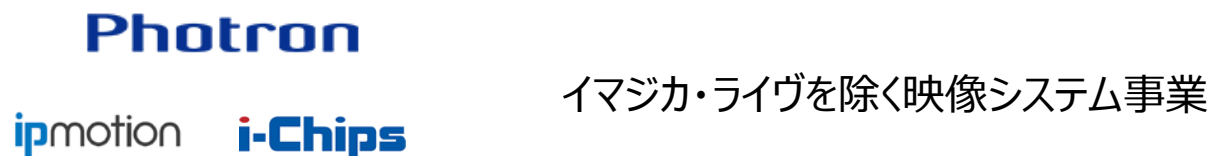
グローバルE2E事業



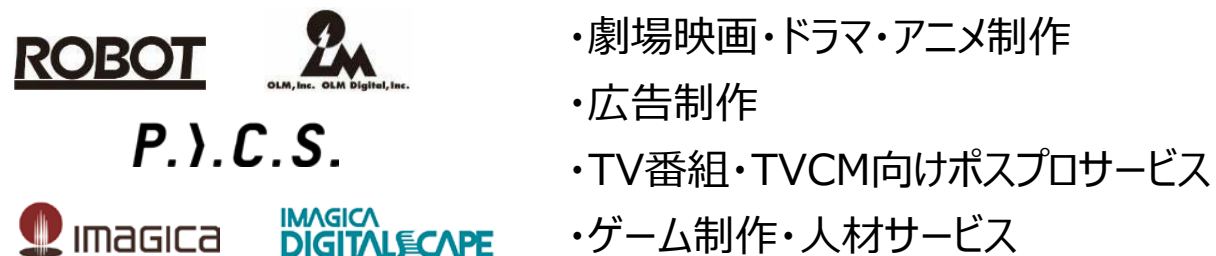
ライブエンタテインメント事業



映像システム事業



変革事業



連結損益計算書

(単位：百万円)	2022年3月期1Q	2023年3月期1Q		
	実績	実績	前年増減額	前年増減比
売上高	15,414	19,861	4,447	28.9%
売上総利益	4,386	5,494	1,108	25.3%
(売上総利益率)	28.5%	27.7%		
営業利益/損失	△ 255	271	527	—
(営業利益率)	—	1.4%		
経常利益/損失	△ 285	306	591	—
(経常利益率)	—	1.5%		
特別利益	358	141	△ 217	△60.5%
特別損失	4	219	215	5245.1%
税金等調整前当期純利益	69	228	158	228.7%
親会社株主に帰属する当期純利益	499	53	△ 446	△89.3%
(参考)のれん等償却前営業利益	158	686	528	334.0%

連結貸借対照表

(単位：百万円)		2022年3月期末	2023年3月期1Q末	前期比	主な増減要因	
資産の部	流動資産	41,066	41,007	△ 59	受取手形、売掛金及び契約資産 △3,517	
	うち現金	6,420	5,487	△ 933	(前期末売上分の回収等による)	
	固定資産	32,317	36,824	4,507	棚卸資産 +3,554	
	うちのれん	11,482	11,844	361	リース資産 +3,879	
	資産合計	73,384	77,832	4,447	(米国リース会計基準の適用による)	
負債・純資産の部	流動負債	32,278	33,364	1,085	支払手形及び買掛金 △1,871	
	うち短期借入金	4,170	4,308	137	(前期末仕入れ分の支払い等による)	
	固定負債	7,079	10,307	3,227	契約負債 +3,510	
	うち長期借入金	4,019	3,806	△ 213	リース債務 +3,546	
		負債合計	39,358	43,671	4,312	(米国リース会計基準の適用による)
		株主資本	29,963	29,349	△ 614	
		その他包括利益累計額	1,185	1,840	655	
		新株予約権	—	—	—	
		非支配株主持分	2,876	2,970	94	
		純資産合計	34,025	34,160	135	
	負債純資産合計	73,384	77,832	4,447		
	ネット資金	△ 1,769	△ 2,627	△ 857	(現金 - 長短期借入金)	

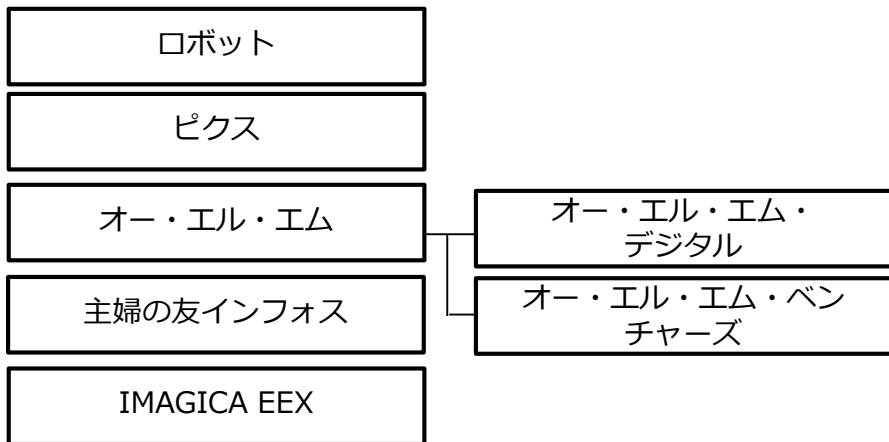
セグメント別総括

(単位：百万円)		2022年3月期1Q	2023年3月期1Q		
		実績	実績	前年比増減	前年比増減率
映像コンテンツ事業	売上高	3,951	4,149	198	5.0%
	営業損失 (営業利益率)	△ 28 —	△ 193 —	△ 164	—
	のれん等償却前営業損失	△ 27	△ 192	△ 164	—
映像制作サービス事業	売上高	8,687	11,955	3267	37.6%
	営業損失 (営業利益率)	△ 174 —	355 3.0%	530	—
	のれん等償却前営業利益/損失	229	759	530	231.7%
映像システム事業	売上高	3,151	4,225	1,073	34.1%
	営業利益/損失 (営業利益率)	103 3.3%	325 7.7%	222	214.6%
	のれん等償却前営業利益/損失	112	334	222	197.6%
その他	売上高	△ 376	△ 468	△ 92	—
	営業損失	△ 155	△ 215	△ 59	—
連結合計	売上高	15,414	19,861	4,447	28.9%
	営業損失	△ 255	271	527	—
	のれん等償却前営業利益/損失	158	686	528	334.0%

事業セグメント別 連結子会社一覧 (2023年3月期)

映像コンテンツ事業

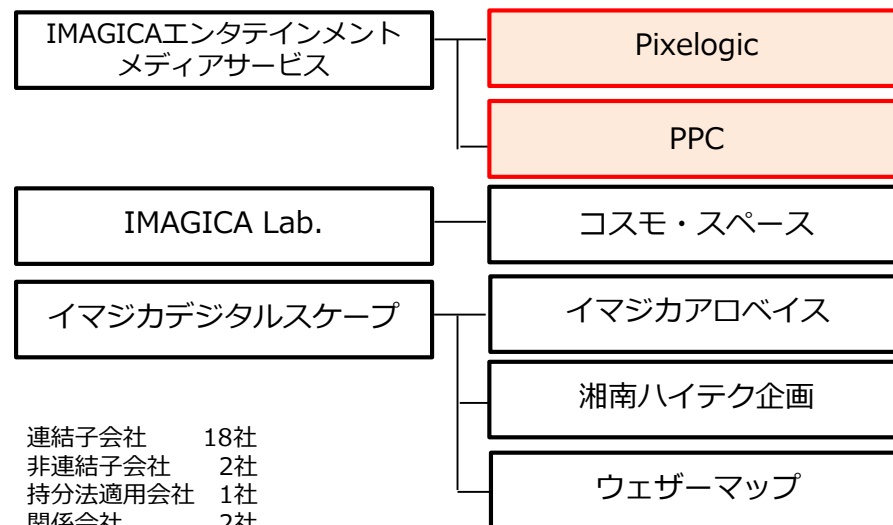
映画、アニメ、CM、TVドラマ等の企画制作、出版事業、音楽ライブやイベント等の映像を軸にした空間の総合プロデュース



連結子会社 9社
非連結子会社 3社

映像制作サービス事業

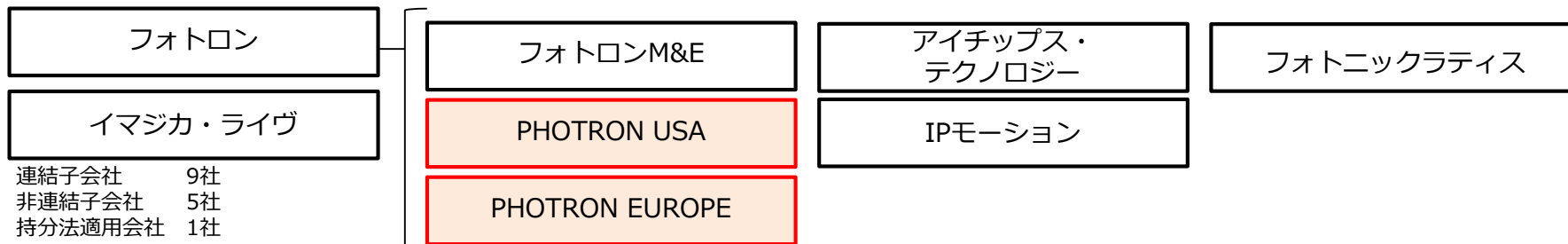
映像・音声編集、CG制作等の映像加工、字幕・吹替、配信・流通サービス、撮影、中継、ゲーム制作、人材サービス



連結子会社 18社
非連結子会社 2社
持分法適用会社 1社
関係会社 2社

映像システム事業

放送映像システムの設計～導入、ネットワーク回線を活用した映像伝送、映像編集クラウドシステム構築など映像システムソリューション全般
独自技術のハイスピードビデオカメラの開発製造事業、医療用画像システム、光学計測、画像関連LSIの開発・販売等



連結子会社 9社
非連結子会社 5社
持分法適用会社 1社

2022年4月～6月 主なグループTOPICS

2022/04/01
イマジカデジタルスケープ、
フォトロン、コスモ・スペース

グループ各社が雇用の多様性に
向けた新たな取り組みとして屋
内農園を開設



2022/04/04
ROBOT

NHKこども向けSDGs番組「あお
きいろ」にて、多彩なアニメー
ション作家たちによるショート
アニメを制作



2022/04/04
フォトロン

株式会社メディア・ソリュー
ションズの全株式を取得（当社
の孫会社化）

Photron

2022/05/09
コスモ・スペース

若年層に向けた「金融教育コン
テンツ」を制作 YouTubeチャン
ネル「三菱UFJ国際投信 ON
AIR」で公開



2022/05/12
IMAGICA EEX

音楽ライブメタバースアプリをプ
ロデュース ぴあ提供のバーチャル
ライブプラットフォーム
「NeoMe(ネオミー)」に開発協力



2022/05/13
ウェザーマップ、P.I.C.S.、
ステークホルダーコム

日本財団と渋谷未来デザイン主催
の地域支援事業 子ども第三の居
場所「みらいの図書室」に参画



2022/06/01
ウェザーマップ

赤城乳業と「ガリガリ君」がお
届けする、夏季限定お天気サイ
ト「ガリ天 2022」をオープン!



2022/06/03
IMAGICAエンタテインメント
メディアサービス、IMAGICA Lab.

映像技術・音響技術のコンクー
ル「第26回 JPPA AWARDS
2022」にて各賞を受賞

IMAGICA
ENTERTAINMENT MEDIA



*1.グローバルE2Eサービス

End to End。映画・ドラマ・アニメーション等の映像コンテンツを制作するポストプロダクションから、それらを劇場、テレビ、インターネットを介した動画配信などあらゆるメディアで流通させるために必要なローカライズ(吹替、字幕制作)、ディストリビューション(流通)のためのメディアサービスまでをワンストップで提供するサービスの総称を指します。

*2.デジタルシネマサービス

劇場にてデジタル上映を行うためのDCP(Digital Cinema Package)作成やDCPデリバリー、KDM(Key Delivery Messageの略で、DCPの暗号を解除するための鍵)配信等のサービスを指します。

*3.動画配信事業者

インターネットを介したプラットフォームにて動画配信を行う事業者を指します。

お問い合わせ先

株式会社IMAGICA GROUP グループ経営管理部

〒105-0022 東京都 港区 海岸 1-14-2

Email : ir@imagicagroup.co.jp

URL : <https://www.imagicagroup.co.jp/>

Twitter : <https://twitter.com/IMAGICAGROUP>

【将来予測について】

本資料に記載されている当期ならびに将来の業績に関する予想、計画、見通し等は、現在入手可能な情報に基づき算定しており、判断や仮定に内在する不確実性および今後の事業運営や内外の状況変化等による変動可能性に照らし、実際の業績等が見通しの数値と異なる結果となり得ることをご承知おきください。